

熊野町のいしぶみとたずねて 第3回

にいなめさい
～新嘗祭に選ばれた熊野町の粟～

昭和18年新嘗祭供御粟献穀の流れ

- 4月
 - ・献穀奉耕者決定
- 6月
 - ・新嘗祭供御粟地鎮祭播種祭
- 10月7日
 - ・新嘗祭供御粟謹作拔穂祭
- 10月25日
 - ・宮中参集所において新精粟を奉献
(夫人同伴)
 - ・農林大臣官舎において記念品の木
杯一箇を授與
 - ・新宿御苑を拝観



▲奉耕者名簿中にあるイラスト



新嘗祭献穀碑

場 所：初神地内
建 立：昭和18年
形 状：高さ2,140cm、幅1,400cm、奥行380cm
新嘗祭献穀碑
安芸地方事務所長 従六位 新山 可信 書
献穀碑文
安芸郡農会長 深瀬 昇 書

新嘗祭とは？

飛鳥時代の皇極天皇より始まった宮中祭祀のひとつで、収穫祭にあたるものです。11月23日に天皇が五穀の新穀を天神地祇に勧め、また自らもこれを食してその年の収穫に感謝するものとして、執り行われる祭りです。

現在は勤労感謝の日として、国民の祝日になっています。

昭和18年当時は、日本全国の農家はもとより、朝鮮・台湾より厳選された奉耕者によって新精米・新精粟が献納されていました。

この年255名の選ばれし奉耕者の中に、熊野町より臺信祐太郎氏の新精粟が選定されました。また、選ばれたことをお祝いし、餅まきなども行われたそうです。

この碑は奉耕者に選ばれたことに感謝し、自ら建立したものとされています。

取材 民法・時光・片川・沖田

議会・委員会活動等紹介

各委員会を実施

■総務厚生委員会

10月21日に、広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会（広島商工会議所内）を訪問し、広島県観光課の同席も得て、民泊や体験型の修学旅行誘致事業について研修を行った。

また、研修会における委員相互の認識を高めるため、10月17日に委員会を開催して事前の意見交換会も行った。

研修では、民泊の実施に



▲民泊事業などについて研修

より、地域との交流、生業体験を通じての交流が図れ、民泊受け入れ者が喜びを感じるなどの効果が期待できる一方で、体験料を徴収するため、それに相応しい研修内容とする必要があることや、受け入れ家庭の問題など課題も多いことを確認した。

■議会広報特別委員会

10月24日、25日の2日間、東京都で開催された第75回町村議会広報研修会に参加した。

新委員構成となって初めての研修で、広報紙作成に必要な、相手に伝わる文章を書くための文章表現や、情報を正確に素早く分かりやすい表現で伝達するためのレイアウト手法、写真撮影における様々な技法などを学んだ。

また、広報クリニックにおいては、参加町村の実際の広報紙面を題材とし、それぞれにアドバイスをおくるとともに、具体的に良い

熊野町を視察訪問

■静岡県函南町議会

10月18日、函南町議会（建設経済委員会）による視察研修が行われた。山陽アルチザン街道キャンペーン（熊野筆）における視察。



■愛知県町村議会議長会

11月8日、愛知県町村議会議長会による視察研修が行われた。介護予防事業における視察。



■岐阜県大野町議会

11月9日、大野町議会による視察研修が行われた。行政サービスのワンストップ化・地場産業の育成における視察。

■北海道深川市議会

11月16日、深川市議会（日本共産党深川市議団）による視察研修が行われた。地域資源・地域おこし（熊野筆）における視察。

点や悪い点などの紹介があった。

■文教委員会

10月31日に、熊野中学校及び熊野東中学校を訪問した。

両中学校において各学年を授業参観した後、校長と懇談を行った。校長からの説明の後に、委員によって多くの質問・意見等が出された。

懇談の内容は、家庭科における弁当づくりの取り組みや授業態度、進学希望者、家庭学習の状況、不登校に



▲校長室での懇談のようす